

令和2年6月吉日

各教育委員会教育長様
各国・公・私立中学校長様
各中学校技術・家庭科担当者様
関係各位

第59回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会
大会実行委員長 田邊正彦

第59回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 神奈川大会のご案内（最終案内）



大会開催要項

- 1 主催
関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究会
- 2 共催
全日本中学校技術・家庭科研究会
- 3 主管
神奈川県公立中学校教育研究会技術・家庭科研究部会
- 4 後援
神奈川県教育委員会 横浜市教育委員会 川崎市教育委員会 相模原市教育委員会
横須賀市教育委員会 大和市教育委員会 茅ヶ崎市教育委員会 秦野市教育委員会
大井町教育委員会 神奈川県公立中学校長会 神奈川県公立中学校教育研究会
公益財団法人 日本教育公務員弘済会神奈川支部

5 研究主題

〈研究主題〉

学びをつなぎ、社会の変化に主体的に対応する力を育む学習指導

〈主題設定の理由〉

本県では、一貫して「自ら主体的に学び、実践する技術・家庭科の学習指導」について、常に時代の要請を受けて研究に取り組んできた経緯がある。近年、AIなどに代表されるように、科学技術が発展をとげ、社会は大きく変化している。その中で人々の生活の在り方は多様化が進み、自らの力でよりよい生活をつくりあげていく力がより必要とされる時代となった。また、近い将来、職業の多くが今の世の中にはない、新しい業種となっているであろうといわれる。新学習指導要領にもある通り、子供たちには、既存の知識や技能を活用する力だけではなく、様々な場面で学んだことを応用し、社会の新しい諸問題に対応していかされる力が必要とされている。そこで、研究主題を「学びをつなぎ、社会の変化に主体的に対応する力を育む学習指導」とし、新しい時代にあっても社会に対応していける生徒をはぐくむことを目標とした。

研究主題に掲げる「学びをつなぎ」には、小学校・中学校・高等学校の学習や、生徒間の学び、他教科との関連など、生徒の学習をより確かなものにするための様々なつながりを重視していきたいという思いを込めた。また、「社会の変化に主体的に対応する力」とは、自己の生活を的確に見直し、自らよりよいものにしていく力であるとし、学んだ知識や技能が社会の中で果たす役割・価値を考え、工夫して日々の生活をよりよいものにつくりあげていく力を意識した。このような力は、学んだ知識・技能を実生活の諸問題に関連付けて、最適な解決方法を考え実践していく中で養われていくものと考えた。

神奈川大会では、授業実践を通じ、題材の学習過程の見直しや新学習指導要領に対応した3年間を見通したカリキュラムを作成し、生徒が、学びをつなぐ学習ができる様々な指導の工夫について研究を深め、その成果をまとめ発表する予定である。

6 全体会指導助言者

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課

情報教育・外国語教育課 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 上野耕史様

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 丸山早苗様

7 各分科会案内

第1分科会 A 材料の加工と技術

【研究の見どころ】 生活を技術的な視点で見直し、必要なものを設計・製作する課題解決型の学習過程を通して主体的に課題に取り組む力を育む研究を進めてきました。作品を構想する段階で小学校での知識や既習の知識、他者の意見など学びをつなぎながら、解決策を提案して、学んだ知識と実生活をつなげることを目指しました。また、製作に見通しをもつことで自らの思考を整理し、技術的な見方、考え方を働かせて設計することで知識の構造化を図る授業を行う予定で準備を進めてきました。

第2分科会 B 生物育成の技術

【研究の見どころ】 生物育成は、人類が必要な資源を生産することができる技術と言えます。この特性を生徒に理解させ、導入題材としてハツカダイコンの栽培を行い作物の基礎的な管理作業を学びます。この振り返りをもとに、一人ひとりの生徒が本題材である三浦大根の実習計画を立て、袋栽培を行います。同時に、日本の農業の現状や抱える問題点を知り、栽培実習で得られた経験と重ね合わせながら、これからの生物育成の技術のあり方について持続可能な社会の視点を踏まえ考えさせる授業を行う予定で準備を進めてきました。

第3分科会 C エネルギー変換の技術

【研究の見どころ】 発電システムについて、社会からの要求、安全性、環境負荷、経済性などを比較することで、技術の見方・考え方に気付かせるワークシートの工夫を行いました。技術の見方・考え方を働かせて設計した家庭で使う LED 照明の電気回路について、情報交流ツールを使った対話的な活動を取り入れ、他者の意見を活かして電気回路の改善を図る授業を行う予定で準備を進めてきました。

第4分科会 D 情報の技術

【研究の見どころ】 社会の問題を主体的に発見し、技術で解決しようとする生徒を育成するために、生徒の発達段階を考慮して3年間の問題解決の難易度を徐々に上げて次の課題へとつなげていきます。また、プログラミングの授業での「応用」にあたる題材設定についても研究しています。授業ではその一例を提案する予定で準備を進めてきました。

第5分科会 A 家族・家庭生活

【研究の見どころ】 横浜地区では、「地域の一員としてこれからの生活を展望する学習指導」をテーマに研究を進め、これからの地域社会の在り方や高齢者との関わりを考え、生活を工夫し創造しようとする生徒の育成を目指します。3年間を見通した指導計画のもと、グループワークで他者と意見を交換して考えを深め、地域ケアプラザ職員による出前授業で高齢者との関わりについて理解し、地域の高齢者とともに協働する方法について考える授業を行う予定で準備を進めてきました。

第6分科会 B 衣食住の生活（食生活）

【研究の見どころ】 調理実習から学びを広げられる「考える調理実習」を軸に、課題の明確化、事前学習から実習・観察・考察・発表への連続性を持った展開、発問、共有の方法、次の課題への関連付け等を研究しました。ハンバーグの調理を通し、加熱や材料を変えることで仕上がりが大きく異なることを五感で感じ「なぜなんだろう」をみんなで考え、疑問を次の課題への意欲に結びつける授業を行う予定で準備を進めてきました。

第7分科会 B 衣食住の生活（住生活）

【研究の見どころ】 健康・安全・快適を考えた住まい方について、主体的に取り組む続ける生徒を育成したいと考えました。そのために住生活の題材を通して、課題を持ち続け、解決に向けて主体的に活動していくことができるよう、学習カード・ワークシート・グループワーク等を活用し、生徒が自分事として、授業での学びを家族・家庭へとつなぐことができる力を身につけさせるための授業を行う予定で準備を進めてきました。

第8分科会 C 消費生活と環境

【研究の見どころ】 商品の購入や使用から廃棄までを自分事としてとらえられる自立した消費者としての生徒を育成したいと考えました。自分の生活経験と関連づけて、模擬体験を取り入れた授業やグループ活動を通して、生徒たちの視野を広げ実生活での積極的な実践につなげられるように研究しています。商品を選択する方法について、持続可能な社会の視点を踏まえ考えさせる授業を行う予定で準備を進めてきました。

9 大会諸経費

- 大会参加費（資料代）資料 1 冊につき 1,500 円

10 参加申込

- (1) 申込期限 令和 2 年 10 月 23 日(金)
- (2) 申込先 神奈川大会事務局
- (3) 申込方法
 - 希望者各自がメールまたは FAX で申し込んでください。
 - メール (FAX) タイトルは 関ブロ申込 としてください。
 - メール (FAX) 本文で、送付先情報（郵便番号・所在地・学校名・職名・氏名）をお知らせください。
- (4) その他
 - 大会参加費は申込期限までに神奈川県技家研口座に直接振り込んでください。
 - 大会事務局に振り込まれた大会参加費は返金できません。
 - メール・FAX の誤送付には、十分にご注意ください。
 - 神奈川県内公立中学校へは、各校 1 冊を配付します。

第 59 回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 神奈川大会事務局

神奈川大会実行委員長

横浜市立汲沢中学校 校長 田邊 正彦
〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町 550-2 TEL 045-861-5303 FAX 045-800-0970

神奈川大会事務局長

横浜市立旭北中学校 主幹教諭 松山 弘子
〒241-0002 横浜市旭区上白根 2-47-1 TEL 045-955-1131 FAX 045-951-1354
E-mail: hi04-matsuyama@city.yokohama.jp

神奈川県技・家研口座

振込先 : ゆうちょ銀行
預金種目 : 普通
口座番号 : 記号 1 0 2 7 0 番号 3 1 7 0 5 9 5 1
口座名義 : 神奈川県公立中学校教育研究会技術・家庭科研究部会

神奈川大会 Web ページ

(神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 URL)
<http://www.gikaken.com/>